

～未来のためにできること～

2022.7.19(火)

16:30-18:00(受付16:10-)

会場:北海道教育大学釧路校 小ホール



講師 神谷レディースクリニック(札幌市)
産婦人科 岩見 菜々子 医師



子どもを産む・産まないにかかわらず、未来のために男女ともに知っておきたい知識があります。望んだときに、望んだ人生を選択できるよう、性の知識をアップデートしませんか？ どんな性をどう生きたいか、自分で決めよう「性」と「生」。

- 主催:釧路市こども保健部健康推進課、釧路市総合政策部市民協働推進課、釧路市地域医療協議会
- 協力:北海道教育大学保健管理センター釧路分室、学生生活サポート室

北海道教育大学釧路校・「発達障害児教育論」(担当、戸田)では、釧路市のご協力をいただき、産婦人科医師・岩見菜々子さんをお迎えして特別講義を行います。この特別講義を履修していない学生、学外の関係者の皆様に広く公開します。

「プレコンセプションケア」を知っていますか？

簡単に説明すると、将来の妊娠・出産のための健康管理を行うことであり、直訳すると“子どもが宿る前のケア”となります。

その目的は、①青年期世代の健康を増進し、こころとからだが健やかな生活を実現すること、②将来にわたってより健やかな状態を維持すること、③妊娠・出産のチャンスを増やし、次世代の子どもたちの健康にも寄与すること、などがあります。



なぜこのようなことを学ぶのだろう？

現在の日本には、計画外妊娠(望まない妊娠)が多いことや、若年層の人工妊娠中絶率が高いことなど、周産期にかかわるさまざまな問題が山積しています。また、学校教育やその他によって子ども・青年があらゆる情報にふれているものの、妊娠や出産に関する知識が行き届いていない現状があります。

いま、小学生以上を対象として、「自分のからだは自分のもので、その健康を管理するのは自分自身である」という概念を身につけてもらうことが大切と考えられています。

この特別講義は、性別(性自認・性指向)にかかわらずプレコンセプションケアを青年期にある自分事として考え、将来教師として子どもにかかわるなかで「自分のことを大切にする」ことの意義を伝えられる知識を身に着けることを目的として開講します。

教育大生はもちろんのこと、教育・福祉・保健等の関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

参加を希望される方は…

7月15日(金)までに以下の Google フォームから参加申込をしてください。

申込 URL→ <https://onl.sc/NCW3xmW>

申込 QR コード→



■問い合わせ先 北海道教育大学釧路校・特別支援教育研究室 戸田竜也
toda.tatsuya@k.hokkyodai.ac.jp 0154-44-3387(研究室直通)